

# たいにいい・ぼくすつうしん

Vol.122

令和7年  
5月15日

## ライオンを知る、生きることの在りか。

今年のゴールデンウィークは暖かく、天候にも恵まれた日が多くありましたが、皆様はいかがお過ごしになりましたでしょうか。近場で過ごす方が多かったとの報道もありましたが、各地の行楽地は多くの人で賑わっていたことと思います。個人的ゴールデンウィークは特に決まった予定がなく、普段なかなか手が回らない清掃や設備の整備を行うのが恒例となっています。今年も例年どおり取り組みを進めました。あさひ事業所では6月より発達支援室の拡張を予定しており、その準備にも取りかかっています。

そんなゴールデンウィークの中、唯一少し遠出をしたのが、横浜の赤レンガ倉庫でした。目的は「石村嘉成展」を見ることでした。映画『新居浜ひかり物語 青いライオン』はまだ観ていないものの、YouTubeで何度も紹介映像を目にするうちに、嘉成氏の絵に強く惹かれていました。一時は、展示会が開催されている広島まで足を運ぼうかと真剣に悩んだほどです。そんな折、横浜の赤レンガ倉庫で展示が行われていることを知り、この機会にと足を運びました。

ライオンの絵が代表作と知られていますが、作品はどれも圧倒されるような迫力と魅力があり、まさに絵の世界に引き込まれるようでした。展示数も多く、幼少期から描かれているという絵日記も興味深く拝見しました。創作活動が大好きだった嘉成氏ですが、最初から卓越した画力があったわけではなく、日々の積み重ねによってその力を磨いていったことが、作品の軌跡からもひと伝わってきました。「好きなことを続けること」の素晴らしさを、あらためて実感させられる展示でした。

また、ご本人の療育の過程を綴ったご両親の著書も購入し読ませていただきました。中でも印象的だったのは、「悪戦苦闘の子育て」と表現したことがあります。子どもとのエピソードを思い返すと、苦しくてしんどいことばかりではない。子どもの純粋なところ、可愛らしいところに結構魅せられて、楽しんでいる自分を発見することがある。」という一文です。この言葉に、自分自身を重ね合わせるように共感し、我が子や事業所の子どもたちから日々たくさんの力をもらっていることを、改めて再認識する機会となりました。

物販ではレプリカとポスターを購入し、なんと石村嘉成氏ご本人からサインをいただくことができました。さらに、一緒に写真まで撮っていただき、とても貴重な思い出となりました。あさひ事業所の新しい活動スペースに展示する予定です。お越しの際には、ぜひご覧いただければと思います。

たいにいい  
のようす

写真掲載欄のため、内容を削除しております。

### 茶話会について(ご報告)

5月12日に茶話会を開催し、今回は7家族の皆さまにご参加いただきました。話題としては、新年度が始まったことに伴う悩みや不安、先生とのコミュニケーションに関する課題などが挙がりました。また、眼科や歯科に関する情報交換の中で、保護者同士のネットワークの広さに感心する場面もありました。事業所からは、スクールバス要望書に対する回答書の配布を行ったほか、美容院の出張サービスを活用した企画やバス旅行に関するニーズ調査も実施いたしました。

### 6月の予定

季節の製作活動、他

### 6月 休業日

1日

7日 8日

14日 15日

21日 22日

28日 29日

